

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島県尾道市立山波小学校
(※正式名称を記載)

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒722-0052
広島県尾道市山波町1630番地

E-mail samba-e@onomichi.ed.jp

Website http://www.onomichi.ed.jp/samba-e/

幼児児童生徒数 男子 129名 女子 115名 合計 244名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自ら学び 心豊かに たくましく生きる山波っ子の育成」を学校理念として、ESDを傾聴と語りかけの機会と捉え、ESDの実践を通して地域を愛する心と発表の力の育成を目標とした。

具体的には、環境と地域の伝統文化を柱に、①地域の農産物に係わる活動、②地域に受け継がれている伝統行事に係わる教育、③地域の伝統文化に係わる学習④国際理解に係わる活動を行った。

① 地域の農産物に係わる活動

「山波の自慢を見つけよう」と題して、地元の特産物を学習し、地域の良さを学んでいる。具体的には、県内有数の産地であるイチジクの栽培・みかん栽培についての思いや作業等について学んでいる。さらに、地域の名人を探し、その名人の技を見せていただく等している。

② 地域に受け継がれている伝統行事に係わる学習

「12歳のハローワーク PARTⅡ」と題して、地域の職業について調べたり、地域の伝統の祭り「餅つき神事」「山波とんど」に参加したりしている。

③ 地域の伝統文化に係わる学習

「山波の伝統文化にふれあおう」と題して、山波の自慢である「山波神楽」「餅つき神事」「山波とんど」について、調べたり聞き取りをしたりして学んでいる。本年度は、壁新聞づくりやカルタづくりを通して、学習を深めた。本校子ども会活動にも「餅つき神事」「山波とんど」の祭りを位置づけ、活動を継続している。

「餅つき神事」は6年生で、「山波とんど」は4、5、6年生が参加をしている。

地元の方々は、こうして祭りに参加することを通して、次の担い手として成長して欲しいと期待されている。

④ 国際理解に係わる学習

道徳の時間における主題名「気もちのよいふるまいを」において、「私たちの道徳」（文部科学省）のせかいのこんにちは、ありがとうを活用し、挨拶の大切さを学んだ。世界にもたくさんの挨拶があることを知り、お互いに言ったり、聞いたりする活動を行った。



① の写真（地域の農産物に係わる活動）



② の写真（地域に受け継がれている伝統行事に係わる学習）



③ の写真（地域の伝統文化に係わる学習）



④ の写真（国際理解に係わる学習）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

| |
|---|
| 国立教育政策研究所 教育課程研究センター「ESD の学習指導過程を構想し、展開するために必要な枠組み」 |
|---|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間において、ESDの「批判的に考える力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的、総合的に考える力」「コミュニケーションを行う力」「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」「進んで参加する態度」の7つの視点を取り入れ、教科の目標達成のみならず、ESDの視点を重視した教育活動を推進している。また、各単元で重点を置く視点を設定し、授業を展開している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間を軸としながら、教育課程に位置づけるとともに、「特別の教科 道徳」などにも教科を広げながら、年1回 広島県教育委員会にも来校いただき、授業研究を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

授業研究の際に、広島県教育委員会の指導主事より、指導・助言・講話を頂いている。成果としては、これまでESD教育といえば「総合的な学習の時間」での活用として考えていたが、本年度は「特別の教科 道徳」で国際理解の内容を盛り込むことにより、視野を広げることができた。課題としては、児童の主体的な学びへ繋げるために課題の設定を工夫していく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

これまで ESD 教育といえば「総合的な学習の時間」での活用として考えていたが、本年度は「特別の教科 道徳」で国際理解の内容で授業研究を行った。そのことにより、「考え、議論する道徳」を教職員で共通理解することができた。また、「総合的な学習の時間」以外の教科・領域でも ESD を取り入れた授業作りができることを改めて学んだ。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の伝統文化の担い手である山波神楽団、地域の漁協の方、県や市の農林水産課の方、農家の方及び農協の方をお招きし、外部講師として授業を実践した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

本校とは、異なる取組をしている学校との交流を行っていききたい。特に広島県福山市におけるユネスコスクールとの交流を深めていききたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

第2学年において国際理解教育を実践することにより、「外国語」への抵抗感を少なくすることができた。また、第3学年・第4学年において地域の方との触れあいや文化を学ぶことを通して、第5学年・第6学年における地域行事への積極的な参加に繋がっている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

学校内外において、地域の外部講師の発掘へ向けてアンテナを広げながら、地域を愛する児童の育成を念頭に置いたネットワークの形成を行う。授業研究を年1回は継続し、教科・領域を広げながら研究を推進していく。